外へ出す前の確認チェック

確認は、安心して届けるための手順です。確認できないものは保留します。

- [ ] **事実と根拠**
  名前・引用・日時・料金・数値は原文に戻れる。未定は未定のまま。
- [ ] **原文・解釈・提案の区別**
  資料の説明、自分の理解、 AI の案を混ぜていない。
- [ ] **相手に伝わる言葉**
  専門用語だけで終わらず、相手の場面と小さな行動が分かる。
- [ ] **誇張・成果保証をしていない**
  実績・体験談・効果を創作していない。必ず成功するとは書かない。
- [ ] **個人情報・非公開情報を守った**
  氏名・連絡先・相談・秘密の内容を、不用意に入力・転載していない。
- [ ] **著作権・利用範囲を確認した**
  読める資料と配れる資料は別。第三者の本文・画像を無断で配らない。
- [ ] **次の行動と届け先がある**
  誰に・どこで・いつ届け、何を聞くかが具体的になっている。
- [ ] **自分が最後に判断した**
  AI の文章をそのまま採用せず、自分の言葉と責任で確認した。

公開できないときは、範囲を小さく。

「企画中の案を一人に見せる」ことも、外へ届ける一歩です。